

## 大学入試センターの概要

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 本日1月18日の土曜日と明日1月19日の日曜日は、大学入試センター試験、よく言うセンター試験が行われます。せっかくですので、放送をお聴きの皆さんに、センター試験はどのように行われているかについてお話をさせていただきます。
3. 多くの大学は、入学試験をセンター試験で代用しています。センター試験の科目は全科目ですが、本日18日の9:30から11:40までは社会の試験が行われます。社会の試験科目には地理、日本史、世界史、現代社会、倫理、政治・経済、倫理・政治・経済があり、その中から1科目を選んで受験する方と2科目を選んで受験する方がいらっしゃいます。大学あるいは学部により、1科目または2科目の指定があるからです。1科目の試験時間は60分ですから、2科目受ける方は120分となり、9:30から始まって11:40に終わります。

午後は、13:00から14:40まで国語の試験があります。国語は、国語総合、国語表現Ⅰを範囲とし、近代以降の文章、古典(古文・漢文)も出題されます。そのあとは、15:10から16:30まで80分かけて外国語の筆記試験があります。それに加えて、英語のみ17:10から18:10まで(正味30分間)リスニング(聞き取り)試験があります。この外国語の試験は、大半の方が英語の試験を受けるようです。ただし、ドイツ語やフランス語、中国語、韓国語の試験も受けられます。
4. 明日1月19日は、9:30から理科の試験が行われます。理科の試験科目は理科総合、物理、化学、生物、地学で、1科目の試験時間は60分です。社会と同様に、理科も各大学の指定により1科目だけ受ける方と2科目受ける方がいらっしゃいます。

午後は、13:00から14:00までと14:50から15:50まで数学の試験が行われます。試験科目は数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学Bですが、工業数理基礎や簿記・会計、情報関係基礎で代用することもできます。

5. では、どのくらいの方がセンター試験を受験するのかというと、全部で 560672 名です。このうちの 92 %は各高校の普通科で学んだ方ですが、農業・工業・商業高校の方や理数科・総合学科・その他の学科の方もいらっしゃいます。

6. 栃木県ではどれくらいの方が受験するかというと、4075 名です。近隣の茨城県は 5908 名、群馬県は 4230 名です。茨城県の人口は栃木県の 1.5 倍で 300 万人近くですので、約 200 万人の栃木県や群馬県に比べると受験者数が多くなっています。

栃木県内では宇都宮大学・足利工業大学・獨協大学・帝京大学・白鷗大学・作新学院大学・国際医療福祉大学・宇都宮共和大学の計 8 大学が試験会場です。

7. これからしばらくの間はセンター試験が話題に上がると思いますので、今年の受験生だけでなく、今後受験を予定している皆さんにも関心を持っていただきたいと思います。

出題された問題の内容は、試験翌日の各新聞の朝刊に掲載されます。社会・国語・外国語の各科目(外国語は英語)の試験問題は明日の朝刊に、理科・数学の各科目の問題は明後日の朝刊に出ます。ですから、ぜひ御覧になり、受験生たちはどのような問題を解くのかについて関心を持っていただければと思います。

8. 試験というのは公平にできていますので、一所懸命に勉強した方はよい点数が取れ、勉強の足りない方はあまり点数が取れません。日本のセンター試験の問題ほど公平にできているものはないと言われるほど、非常によい問題が万遍なく出題されていますので、放送をお聴きの皆さんもぜひ御覧になった上で受験生を励ましていただければと思います。よろしく願いいたします。